

ふれあい

ふくし 福祉



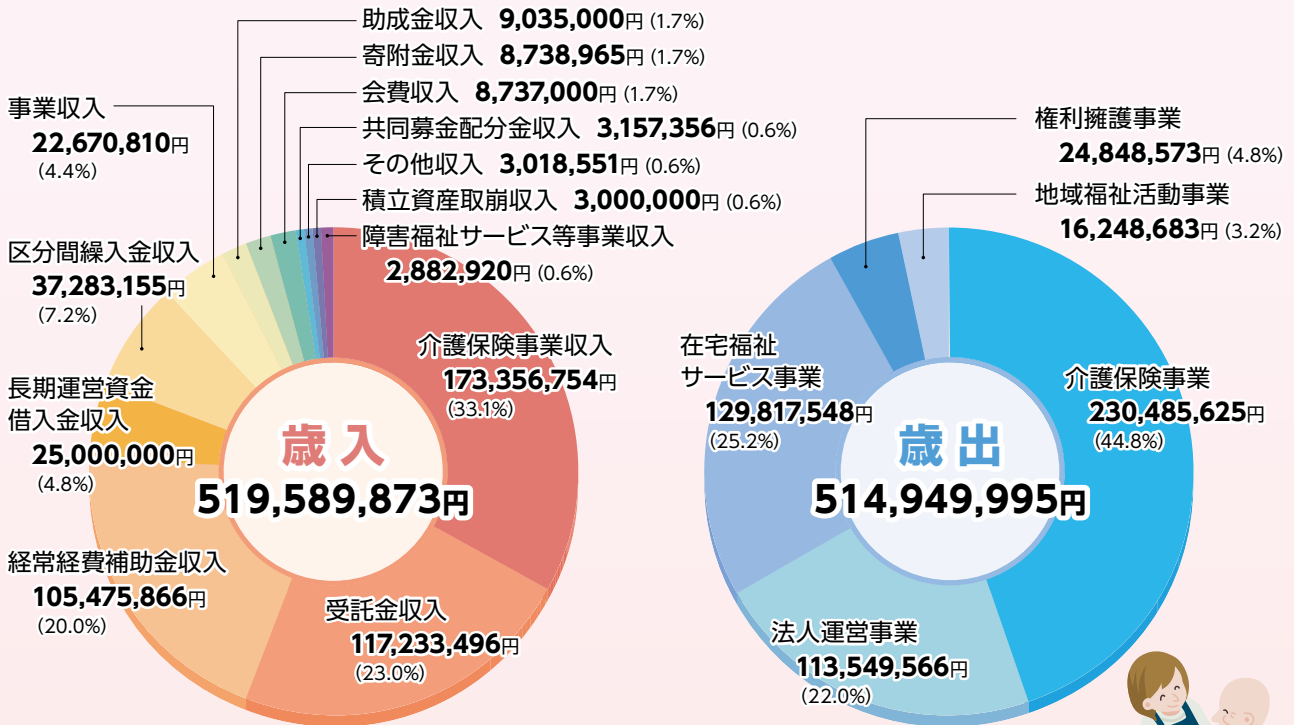
※写真は落合地区本村町内会での福祉委員による見守り声掛け活動の様子です。
詳細は9ページに掲載。

- ▶ 令和2年度決算報告および実施事業 …… 2～3ページ
- ▶ 令和2年度会費・寄附財源事業 …… 4～5ページ
- ▶ 新役員・評議員紹介 …… 6ページ
- ▶ 令和3年度一般募金助成金交付 …… 7ページ
- ▶ ふくし人 …… 8ページ
- ▶ お知らせ …… 9～10ページ
- ▶ 寄附者一覧 …… 11～12ページ

令和2年度 決算報告

令和3年6月21日に定時評議員会を開催し、令和2年度の事業報告、社会福祉事業・公益事業決算などが承認されました。令和2年度の決算については次のとおりです。

社会福祉事業 514,949,995円



会費収入の内訳

社会福祉協議会賛助会員会費	8,356,000円
福祉移送サービス会員会費	381,000円

その他収入の内訳

貸付事業収入	258,389円
負担金収入	1,297,887円
利息等収入	508,734円
雑収入等	352,941円
固定資産売却収入	600,600円

公益事業 131,340,414円

事業名	歳入	歳出
シルバー人材センター事業	78,631,644	78,631,644
総合福祉センター事業	52,708,770	52,708,770

(単位:円)

財産目録

科目	金額
流動資産①	142,048,435
現金	280,000
預金	52,179,256
未収金	89,589,179
固定資産②	427,520,650
基本財産	79,331,410
その他固定資産	348,189,240
資産合計③ (①+②)	569,569,085

科目	金額
流動負債④	61,055,082
未払金	55,455,145
預り金	5,196,937
前受金	398,000
仮受金	5,000
固定負債⑤	33,364,000
設備資金借入金	33,364,000
負債合計⑥ (④+⑤)	94,419,082
差引純資産⑦ (③-⑥)	475,150,003

令和3年3月31日現在 (単位:円)

令和2年度の主な実施事業

高梁市社会福祉協議会の基本理念である「**みんなで作る いきいきと暮らせる愛のまち たかはし**」～ささえあい・たすけあいのまちづくり～を実現するため、1.地域で活躍できる人づくり 2.手と手をつなぐ地域づくり 3.安心して暮らせる環境づくり 4.地域福祉活動を支える体制づくり の4つの基本目標を掲げ各種事業に取り組みました。

在宅福祉サービス事業

主な事業(内容) 決算額 **129,817,548円**

■高梁市から次の事業を受託し実施しました。

- 敬老事業
- 福祉移送サービス事業
- ちょこっとお助けサービス事業
- 健やか高齢者生きがい支援事業
- 給食サービス事業
- 寝具洗濯乾燥消毒事業
- 生活支援体制整備事業

在宅で安心した生活が送れるように新型コロナウイルス感染症防止対策を講じてサービスの提供を行いました。

- 高梁市遺族連合会への事務支援
- 川上保健センターの維持管理

法人運営事業

主な事業(内容) 決算額 **113,549,566円**

- 理事会、評議員会等の各種会議の開催
- 会員制度の広報および普及による自主財源の確保
- 事務効率向上のための事務改善
- 「ふれあい福祉」の発行
- ホームページの更新
- 社協会長表彰
- 地域における公益的な取組

市内の11社会福祉法人で法人連絡会と結成し、生活困窮者に対する食料支援等を行いました。また、社協独自では車椅子等の短期貸し出しや市内の学校で福祉に関する出前講座を行いました。

地域福祉活動事業

主な事業(内容) 決算額 **16,248,683円**

■ふれあいのまちづくり事業

福祉委員活動・地区社会福祉協議会の支援など

■福祉活動推進事業

第2次地域福祉活動計画の進捗管理を行いました。

■福祉活動助成事業

ふれあいサロン実施団体へ活動助成を行いました。

■老人福祉事業

■障がい児・ひとり親・児童福祉事業

■災害福祉活動事業

■一般募金助成事業

市内の福祉・ボランティア団体等29団体へ助成しました。

■歳末たすけあい支援事業

歳末たすけあい運動の実施団体等に助成金を支給しました。

■ボランティアセンター活動事業

市内の小・中学校のボランティア活動の支援を行いました。また、災害ボランティアセンターの基盤整備を行いました。

■地域福祉活動基金



権利擁護事業

主な事業(内容) 決算額 **24,848,573円**

- ふれあい相談事業
- 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)
- 高梁市生活あんしんサポートセンター事業
相談者が抱える多様な問題に対して、自立に向けた継続的な支援や生活の再生に向けた家計支援を行いました。
 - 自立相談支援事業
 - 家計改善支援事業
- 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)
- 福祉資金貸付事業

介護保険事業

主な事業(内容) 決算額 **230,485,625円**

- 居宅介護支援事業…居宅サービス計画書の作成及び市受託事業
- 訪問介護事業…ホームヘルプサービス
- 訪問入浴事業…入浴車による入浴サービス
- 通所介護事業…デイサービス
- 介護予防・日常生活支援総合事業
- 認知症対応型共同生活介護事業…(グループホームささゆり苑)

ご寄附ありがとうございました

浄財によって支えられています



会費を財源とした事業

ふれあいサロン事業

地域で安心していきいきと生活を送れるよう「ふれあいサロン」団体に助成し、孤立や閉じこもり防止等の活動を支援しました。



● 111団体に助成

● 災害見舞金の支給

● ボランティア保険料の助成

ボランティアセンター活動事業

174,979円(2.1%)

- 障がい児・ひとり親・児童福祉事業
- 福祉委員活動の支援等

災害福祉事業

220,000円

(2.6%)

その他の事業

101,250円(1.2%)

皆さまからの会費 **8,356,000円**

福祉活動助成事業

3,356,838円

(40.2%)

敬老事業

1,231,588円

(14.7%)

令和3年度へ繰越

3,271,345円

(39.2%)

敬老事業

永年にわたり地域の発展に尽力された高齢者の長寿を祝う敬老会に助成し、敬老意識の高揚を図るとともに、地域の絆づくりを推進しました。

● 25団体に助成



令和2年度は、「コロナ禍」の影響により、ふれあい福祉講座等の事業中止や、ふれあいサロン、敬老会を実施される団体の減少等で繰越金が発生しています。この繰越金は、今年度以降の事業に充当し各種事業を推進してまいりますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

賛助会員会費につきましては、福祉委員の方々のご協力をいただき地域の皆さまへご協力をお願いしております。会員制度の主旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和2年度も賛助会員会費

これらの事業は皆さまからいただきました

寄附金を財源とした事業

地区社会福祉協議会 活動費の交付等

それぞれの地域に根差した福祉活動を展開するため、市内全14地区社協に活動費を交付するとともに、地域住民が相互に協力し、身近な困りごとの解決に向けた取り組みができるよう「お助け隊派遣事業」等を推進しました。

敬老祝い品贈呈事業

米寿を迎える方を対象に、長寿のお祝いとして肖像写真を贈呈しました。



贈呈者269名

- 車いす等の短期貸し出し



- その他、福祉団体活動助成等

その他の事業
220,037円(2.5%)

皆さまからのご寄附 8,738,965円

ふれあいのまちづくり事業
4,347,085円
(49.8%)

敬老事業
1,069,388円
(12.2%)

令和3年度へ繰越
2,079,383円
(23.8%)

企画広報事業
775,192円(8.9%)

- ふれあい福祉の発行
- 地域福祉に対する功績のあった個人及び団体を表彰

ボランティアセンター
活動事業
227,880円(2.6%)

法人運営事業
20,000円(0.2%)

- 各種会議の開催

災害ボランティア研修会・災害ボランティアセンター設置訓練

市内の方を対象に日野ボランティア・ネットワーク山下弘彦さんを講師に迎え、災害ボランティア活動の説明や被災地の現状についての講演をいただきました。また、発災時の写真や防災のカードゲーム等を展示し、防災意識の向上を図りました。

また、令和3年2月には市内での発災を想定し、災害ボランティアセンター設置訓練も実施しています。



新役員・評議員紹介

令和3年6月21日より新しい役員・評議員が就任されました。また、同日開催の理事会において、会長及び副会長が選任されました。役員・評議員は次のとおりです。(敬称略)

理事

〔任期・令和5年の定時評議員会の終結の時まで〕
【住民代表・地域福祉関係者】
 内田 親秀 (会長)
 藤森 弘子

江田 睦雄 (新)
 細川 正治 (新)
 丹治 勇 (新)
 後内 久雄

【民生委員児童委員】

渡邊 清隆
 渡邊 俊雄

【福祉に関する実情に通じている者】

古林 達 (副会長)
 山本 栄三

【社会福祉事業の経営に関する識見を有する者】

川上 一夫

【行政関係者】
 藤澤 政裕 (副会長)

監事

〔任期・令和5年の定時評議員会の終結の時まで〕

【財務管理に関して識見を有する者】

坂田 嘉穂

【社会福祉事業の経営に関する識見を有する者】

亀山 俊

評議員

〔任期・令和7年の定時評議員会の終結の時まで〕
【地域福祉関係者】

笹田 敏宏 (新)
 石井 秀知 (新)

中島 一
 宮森 強 (新)

安達 明治 (新)
 川本 雅子 (新)

藤井 茂 (新)
 森定 寛

堀井 功雄
 湯浅 幸夫

坂本知恵子
 川上 博文 (新)

山根 玲子
 渡辺 太紀

川上 泰正 (新)
 中山 美江 (新)

大内 文雄 (新)
 實森 孝士 (新)

中迫 貞子
 長江 絹代

井上 明彦 (新)

【児童福祉に関する者】

安原 幸子

【福祉団体、ボランティアに関係のある者】

森岡志乃婦

【社会福祉施設に関係のある者】

三宅 得智



再任にあたって



社会福祉法人
 高梁市社会福祉協議会
 会長 内田 親秀

高梁市社会福祉協議会の会長再任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本会では、『みんなでつくるいきいきと暮らせる愛のまちたかはし』と「ささえあい・たすけあいのまちづくり」を基本理念として、地域福祉事業・在宅福祉サービス事業・介護保険事業等、さまざまな事業を実施しております。

近年、福祉ニーズは複雑・多様化しており、市内の各地区社会福祉協議会を中心とした見守り活動の充実や、新たな相互支援体制の構築がますます重要になると考えております。

より地域社会に貢献できる法人となるよう、引き続き、役員員一丸となって、市民の皆さまや各種関係機関と緊密に連携を図りながら、福祉のまちづくりに取り組んでまいります。

今後とも皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。再任のご挨拶といたします。



令和3年度 一般募金助成金交付

高梁市社会福祉協議会では、高梁市共同募金委員会から昨年度の赤い羽根共同募金を基に配分を受け、45団体へ3,857,000円を交付しました。
助成金交付団体は次のとおりです。

ボランティア活動団体 4 団体

- ★ 有漢町ボランティアあじさいの会
- ★ 子育てボランティアうぐいす（成羽）
- ★ 子育てサポーター（ゆーぽー）（川上）
- ★ 備中町ヘルスボランティア連絡会

高齢者・障がい者・児童福祉活動団体等 18 団体

- ★ 高梁地域老人クラブ
- ★ 有漢地区民生委員児童委員協議会
- ★ 有漢地域老人クラブ
- ★ 成羽地区民生委員児童委員協議会
- ★ 成羽地域老人クラブ
- ★ 川上地区民生委員児童委員協議会
- ★ 川上地域老人クラブ
- ★ ぶどうの会（高梁）
- ★ 備中地域老人クラブ
- ★ 高梁母親クラブ
- ★ 高梁市身体障害者福祉協会有漢分会
- ★ やんちゃクラブ（有漢地域母親クラブ）
- ★ 高梁市身体障害者福祉協会成羽分会
- ★ 成羽母親クラブつくしの会
- ★ 高梁市身体障害者福祉協会川上分会
- ★ 川上町親子クラブつくし会
- ★ 高梁地域民生委員児童委員協議会
- ★ たかはし社会福祉士会



歳末たすけあい運動を実施する団体 9 団体

- ★ 高梁市手話ボランティアの会
- ★ ひまわりボランティア（川上）
- ★ 宇治婦人会
- ★ ラベンダーボランティア（川上）
- ★ 有漢町ボランティアあじさいの会
- ★ 四ツ葉の会（川上）
- ★ かぐら街道布寄直売所（成羽）
- ★ 備中町ヘルスボランティア連絡会
- ★ 川上地区歳末友愛ボランティア

※令和3年度から、年末年始に慰問等を実施する団体の活動費は、一般募金助成金交付となりました。

地区社会福祉協議会 14 団体

- ★ 高梁地区社会福祉協議会
- ★ 落合地区社会福祉協議会
- ★ 津川地区社会福祉協議会
- ★ 有漢地区社会福祉協議会
- ★ 川面地区社会福祉協議会
- ★ 成羽地区社会福祉協議会
- ★ 巨瀬地区社会福祉協議会
- ★ 川上地区社会福祉協議会
- ★ 中井地区社会福祉協議会
- ★ 備中地区社会福祉協議会
- ★ 玉川地区社会福祉協議会



皆さまからお寄せいただいた募金は、地域の福祉活動に役立てられています。

津川地区

石井 秀知さん

Hidetomo Ishii

ふくしとは、

- ふ ふつう(普段)の
- く暮らしが
- し 幸せであること。とされています。

このコーナーでは、そんな福祉のまちづくりのために地域で頑張っておられる方を紹介していきます。



平成13年より福祉活動に従事しはじめ、今年で20年を迎えました。私が福祉活動に関わるようになったきっかけは、社会福祉協議会が行う福祉移送サービスの運転手として、移動手段に困っている方の送迎に携わるようになったことでした。高齢者や障害者の移動手段については、今後ますますの必要性を感じています。

津川地区においては、他地区同様に少子高齢化に歯止めがかからず、町内会組織としての機能の弱体化や現状維持が難しくなってきました。こうした状況を何とかしなければと、津川地区社会福祉協議会を中心に、「何をしたいか」「何ができるか」を模索しながら、住民みんな地道に一つ一つ頑張っています。

津川地区では、特に地域の交流事業として「ホッとカフェつがわ」を毎月第二、第四の水曜日に開催しており、地域のボランティアスタッフ数名で運営しています。この会は、日頃出かけることがなかなかない高齢者の方を中心に津川総合会館を会場に行っています。

しかしながら、移動手段の問題や高齢化による参加者減少が課題としてあり、住民の意見を聞きながら、地域に出

向く出張カフェを計画している最中です。新型コロナウイルス感染症のこともあり、現在は中止していますが、一日でも早く新型コロナウイルスが収束し、集いの場を含めた地域での活動が再開できるよう望んでいます。

近年は異常気象が各地で発生しており、平成30年には高梁市も大きな被害を受けました。今後の災害対策として、津川地区では、民生委員児童委員を核として、地域の福祉委員などと連携を図り、「災害時要配慮者」の災害時における安否確認連絡網の確立を行っています。また、日頃からちょっとした見守り活動を積み重ね、福祉委員の方々に「活動日誌」を記載していただくことで住民同士の互助活動を推進しています。

このような地道な活動を通して、津川地区に暮らす住民みんなが協力し合いながら安心して過ごせることができるよう、微力ながら今後もできる活動をしていこうと考えています。



「地域活動紹介」

備えあれば憂いなし



西林 優一

福祉委員



佐藤 昌弘

民生委員

落合地区社会福祉協議会では、落合地区独自の活動として、福祉委員が町内の気になる方へ、救急医療情報キットを配布しています。

本村町内会の西林福祉委員は佐藤民生委員と話し合いを持ち、一人暮らし高齢者等の見守り、声かけを行いながらキットを配布しました。西林福祉委員は、「高齢化が進む中、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるように福祉委員活動を行ってきたいと思っております」

また、佐藤民生委員は「いきとつときのために日頃から福祉委員と連携を図り、地域の見守りが大切である」と話されています。

☆**救急医療情報キット**とは、高齢者等の安心・安全を確保することを目的に、かかりつけ医などの医療情報や家族・親族などへの緊急連絡先などの情報を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておき、万が一の救急時に備えるものです。



日常生活用具の貸出

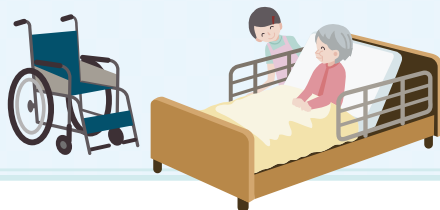
市社協では、日常生活用具の貸出事業を行っています。用具の種類は、介護ベッド、車イスで、利用料は「無料」です。

対象者は次のいずれかに該当する方です。

▼ 市内に住所を有し、在宅で生活されている方で、介護保険の認定を受けていない方、もしくは、要支援1・2、要介護1の方

▼ 要介護2以上の方で、外出や受診等により短期的に必要な方

貸出期間は3ヶ月以内の必要な期間ですが、貸出期間満了後、引き続き貸出が必要と認める場合は更新することができます。



敬老会の助成申請を受け付けます!!

▼ 対象事業

本年9月から11月末日までの期間内に実施する敬老会（現金や記念品等の贈呈は除く）

▼ 対象者

令和3年8月1日現在で市内に住所を有し、令和4年3月31日までに満75歳以上になる方。

▼ 助成金の交付額

参加者一人当たり1,500円。この他に実施地域内の在宅の方（施設入居者等は除く）で満88歳（昭和8年4月1日～昭和9年3月31日の間にお生まれの方）を迎えられる方一人当たり1,500円（参加の有無に関係なく助成の対象となります。）

▼ 支給要件

複数の敬老会で対象者が重複した場合は1回のみ支給対象

▼ 申請場所

地域福祉課及び各支所、各地域市民センター（必ず開催前に申請してください）

★新型コロナウイルス感染症にかからないために3密を避け、工夫をしての開催をお願いします。



権利擁護センターからのお知らせ

成年後見人等の相談会

◆ご家族やご親族の後見人として活動をされている皆様がこれからも安心して活動していけるように無料相談会を行います。

●相談日：令和3年8月16日（月）

10月21日（木）

12月17日（金）

●時間：13：00～16：00【1人45分程度】

●会場：高梁総合福祉センター（高梁市向町21-3）

●相談員：弁護士、司法書士、社会福祉士など

●相談料：無料



※各相談日の**3日前**までにご予約ください。

「市民後見人養成研修」受講者募集！ ～あなたも市民後見人として活動してみませんか？～

◆高梁市権利擁護センターでは「市民後見人養成研修」の受講生を募集します。

●応募資格：20歳以上70歳以下の市内在住者で、高齢者等の福祉に理解と熱意があり、福祉活動に対し実績のある人

●募集人数：若干名

●研修期間：令和3年10月～令和4年2月の期間で10日間の予定
（県主催7日間、権利擁護センター主催3日間）

●研修場所：岡山市（予定）及び高梁総合福祉センター

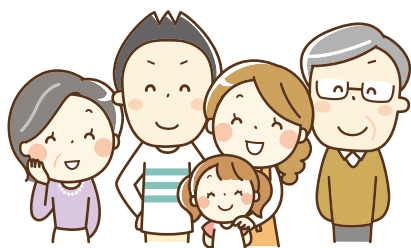
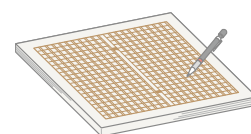
●受講料：無料（権利擁護センターが負担）

●募集方法：令和3年8月10日（火）までに

履歴書、小論文を高梁市権利擁護センターへ提出してください。

●選考方法：応募書類による審査及び面接審査（8月下旬予定）を実施します。

●その他：養成研修の修了後、原則市民後見人候補者として登録し、家庭裁判所から選任後に、市民後見人として活動を行うこととなります。



▼ご予約・応募希望の方は下記までご連絡ください

＜連絡先＞

高梁市向町21-3

高梁市権利擁護センター（高梁市社会福祉協議会内）

☎ 0866-56-0063

- 金一封 下原 谷本 敏男 (故・マスエ様)
- 金一封 下日名 杉本 守 (故・玉江様)
- 金一封 佐々木 平松 正寛 (故・春子様)
- 金一封 下原 伊藤佐喜子 (故・建樹様)
- 金一封 下原 藤川 憲司 (故・紘三様)
- 《川上支会》
- 金一封 臘 数 佐々木文江 (故・一七様)
- 金一封 岡山市 林 秀樹 (故・建樹様)
- 金一封 七地 亀川 健寿 (故・多惠様)
- 金一封 地頭 大田 一茂 (故・恵子様)
- 金一封 七地 山本 朋範 (故・幸子様)
- 金一封 七地 高岡 芳夫 (故・昌子様)
- 《備中支会》
- 金一封 布瀬 森繁 進 (故・美津江様)
- 金一封 平川 平田 安曠 (故・咲子様)
- 金一封 布賀 田村 昭一 (故・武夫様)
- 金一封 東油野 松田 哲朗 (故・美代子様)
- 金一封 平川 赤木 洋二 (故・眞恵様)

【一般寄附】

《高梁支会》

- 金一封 川面町 藤井 三夫 (退院内祝いとして)

《高梁地区》

- 金一封 匿 名 (社会奉仕として (第44回、第45回目))

《川面地区》

- 金一封 川面町 藤井 三夫 (退院内祝いとして)

《有漢支会》

- 金一封 上有漢 水川 利之 (退院内祝いとして)
- 金一封 上有漢 塚本 壽栄 (退院内祝いとして)
- 金一封 有漢 秋庭 孝子 (退院内祝いとして)

《川上支会》

- 金一封 仁 賀 金尾由美子 (一般寄附として)
- 金一封 匿 名 (退院内祝いとして)

お詫び

第97号(5月15日発行)において掲載漏れがありました。お詫びして掲載いたします。

11ページ

【香典返し・玉串料】

- 《高梁支会・落合地区》
- 金一封 落合町 西 浩延 (故・悟様)

第97号(5月15日発行)において誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

11ページ

【香典返し・玉串料】

- 《玉川地区》
- 金一封 玉川町 山本 深雪 (故・嘉久様)
- 金一封 玉川町 山本 深雪 (故・喜久様)

《高倉地区》

- 金一封 新町 廣金 昭夫 (故・熙様)
- 金一封 新町 廣兼 昭夫 (故・熙様)

《有漢支会》

- 金一封 有漢 富田 裕二 (故・知芳様)
- 金一封 有漢 富田 裕二 (故・和芳様)

編集後記

夏本番で暑い日が続いています。食欲が低下し、体調を崩しやすい季節ですが、こまめに水分補給して厳しい夏を乗り越えましょう。

さて今号では、令和2年度の事業及び決算報告、寄附金・賛助会費を財源とした事業を掲載しております。寄附金や賛助会費は、皆さまが地域で安心して暮らせるようふれあいサロン活動事業やボランティアセンター事業等の貴重な財源となっております。

また、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、ふれあい福祉講座、夏のボランティア体験事業等の中止により、繰越金が発生しております。この繰越金につきましては今年度以降の事業に充当してまいります。

本会では、今後も新型コロナウイルス感染症予防に努めつつ、各種事業に取り組みしていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

(S)